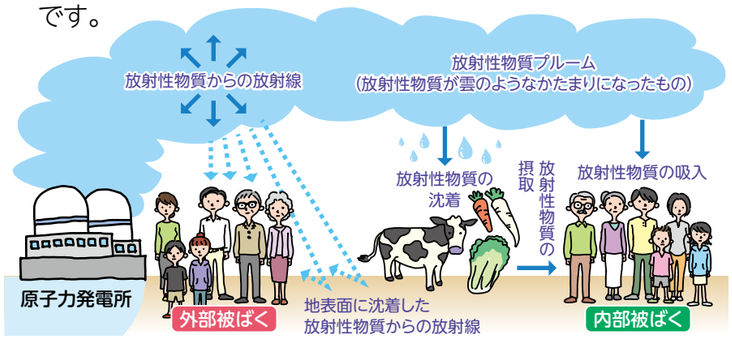
原子力防災講座 vol.1

原子力災害の特殊性

●放射線は，目に見えず，味やにおいもしないなど五感では感じることができませんので，原子力災害時には，どのように行動すればよいかを自ら判断することが困難です。

●いざという時のために，原子力災害時の心構えや情報伝達について知っておくことが大切です。



外部被ばく
大気中や地表に沈着した放射性物質など，体の外から放射線を受けること。

内部被ばく
呼吸や食べ物などで放射性物質を取り込み，体の中から放射線を受けること。

原子力災害時の心構え

●災害が起こると，さまざまな情報が飛び交い，混乱が起こりやすくなります。

●国や県，関係市町が発表する正しい情報を確認し，指示に従ってあわてずに行動することが大切です。

うわさやデマに注意しましょう!

国や県，関係市町が発表する正しい情報をしっかり確認しましょう。

ご近所の方と情報確認をしましょう!

お年寄りや身体が不自由な方には，特に声をかけましょう。

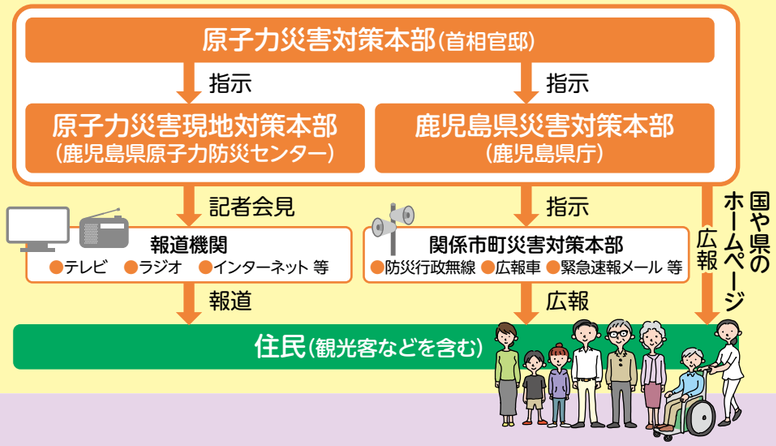
落ちついて行動しましょう!

多くの人が集まる場所や道路では，市町の担当者や警察官などの指示に従いましょう。

住民への情報伝達

●原子力災害の情報は，テレビ，ラジオ，防災行政無線，広報車，メールなどのあらゆる手段を通じてお知らせします。

●最新情報やデータをこまめに確認し，すぐに行動できるよう情報収集に心掛けましょう。



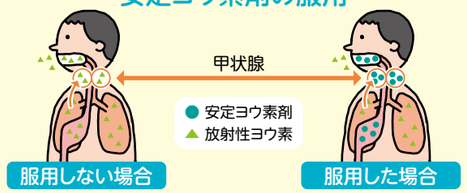
安定ヨウ素剤の事前配布について

安定ヨウ素剤には，原子力発電所から放出される放射性物質のうち放射性ヨウ素による内部被ばくを防止する効果があり，県では，UPZ圏内関係市町及び本土内各保健所に十分な量を備蓄しています。

また，原子力災害時における避難等の際に安定ヨウ素剤を速やかに服用できるよう事前配布を行っています。

安定ヨウ素剤（ヨウ化カリウム丸／ゼリー剤）

安定ヨウ素剤の服用



●PAZ圏内（原発から概ね5km圏内）の住民の方へは，避難の際に服用の指示に基づき速やかに服用できるよう，居住者全員を対象に事前配布を行っています。

●UPZ圏内（原発から概ね5～30km圏内）においては，原子力災害発生時の避難等が必要な場合に，緊急的に配布することが基本となっています。
なお，障害や病気により緊急時の受け取りが困難であるなど，一定の要件を満たし希望する方を対象に事前配布を行っています。

お問い合わせ先 鹿児島県くらし保健福祉部保健医療福祉課　TEL: 099-286-2666

令和3年度第1回

環境放射線モニタリング技術委員会を開催

県では，川内原子力発電所周辺の環境の保全と住民の方々の健康を守るため，川内原子力発電所周辺環境放射線調査を実施しています。

環境放射線調査結果の評価にあたっては，学識経験者により構成されている「環境放射線モニタリング技術委員会」の指導・助言を得ています。

今回は，令和3年1月～3月の調査結果について評価していただきました。これらの結果が本紙5～6ページに掲載されています。

開催日
令和3年7月16日（金）

場所
アートホテル鹿児島